

# ひめじ創生戦略

〔アクションプラン〕

平成30年度改定版



平成30年3月

姫路市

《 目 次 》

I. ひめじ創生戦略 アクションプラン 平成 30 年度改定版 .....	1
1. アクションプラン策定の目的・位置づけ .....	1
2. ひめじ創生に向けた事業展開の考え方 .....	2
3. 成果指標・重要業績評価指標(KPI) .....	4
4. 課題に対応する新規・拡充事業 .....	6
5. 個別の事業・事業内容・成果指標・重要業績評価指標(KPI) .....	8
6. 推進体制 .....	27
(1) ひめじ創生推進本部 .....	27
(2) ひめじ創生戦略会議 .....	27
(3) 市民対話の充実 .....	27
(4) 進行管理 .....	27
7. 各局の地方創生に対する取組みの方針（平成 30 年度） .....	29
<b>【資料】</b>	
・用語解説（50 音順） .....	34

# I. ひめじ創生戦略 アクションプラン 平成 30 年度改定版

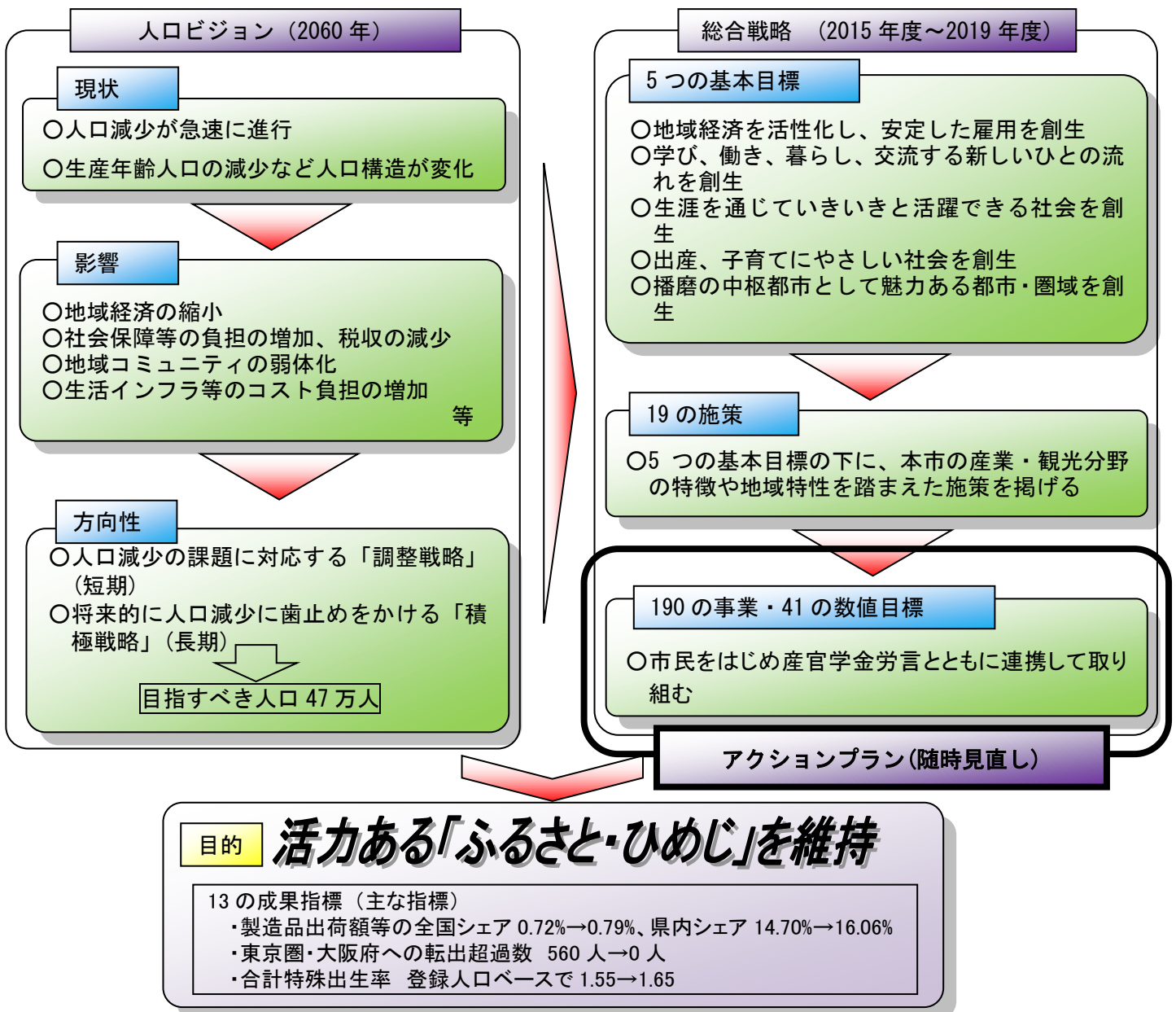
## 1. アクションプラン策定の目的・位置づけ

本市は、これまでも総合計画「ふるさと・ひめじプラン 2020」において、平成 32 年(2020 年)に、現在の人口規模である 53 万人を維持することを目指し、総合的に事業を展開している。

ひめじ創生戦略では、平成 72 年(2060 年)というさらに長期的な展望から人口減少の緩和と地域の活性化に取り組むこととしており、具体的な行動計画である〔アクションプラン〕において、人口問題に重点化した 19 の新規事業と 43 の拡充事業を含む 190 の事業を掲げる(再掲を除く)。

事業と数値目標については、毎年度の PDCA サイクルによる進行管理の中で、取組み内容と数値目標の達成状況等をチェックし、バージョンアップしながら戦略を着実に推進する。

ひめじ創生戦略のイメージ図



## 2. ひめじ創生に向けた事業展開の考え方

ものづくり産業及び姫路城等による本市の強みを活かした地域経済の活性化を好循環のスタートと位置づけ、重点的に推進し、社会増に向けた対策に取り組むとともに、交流人口の増加を図り活力向上を目指す。これにより得られる財政力等を活かして、ライフステージに応じた包括的な支援を行い、生涯を通じた安心を提供し、自然増に向けた対策に取り組む。さらに、これらにより創出される「暮らしやすい姫路」等を情報発信し、好循環を加速させる。

そのような「ひと」と「しごと」の好循環を支えるため、近隣市町との連携により、持続可能で住みよい都市を目指した「まち」づくりを推進する。

### 平成 30 年度 ひめじ創生戦略 方針

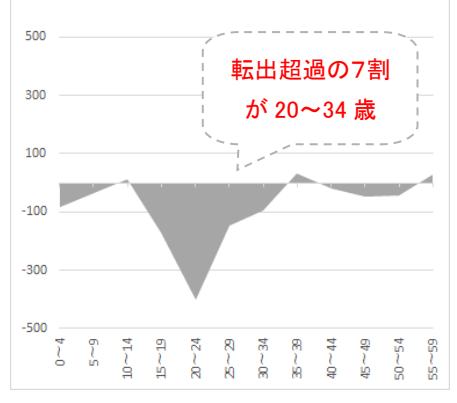
#### ○これまでの振り返り

- ・ 1～2 年目は社会増に向けた対策（地域経済の活性化が好循環のスタート）
  - ・ 3 年目は自然増に向けた対策（子育て・女性活躍に重点）
- 雇用・総入込客※数は改善しているが、東京を中心とする  
**大都市圏への転出超過に歯止めが掛かっていない**

#### 重要業績評価指標の状況 (H26 → 最新)

- 有効求人倍率  
1.29 → **1.77**
- 総入込客※数  
914 万人 → **1,026 万人**
- △合計特殊出生率（住基ベース）  
1.55 → **1.57**
- ×出生数（住基ベース）  
4,724 人 → **4,343 人**
- ×東京圏・大阪府への転出超過数  
560 人 → **1,064 人**

#### 年齢別転出入状況 (H28.10 → H29.9)



#### ○課題

- ・ **就職期の若者の地元離れ**

若者を重点的に支援

#### ○平成 30 年度の方針

**若者**が質の高い**暮らし**ができる**播磨**を目指す

質の高い暮らしとは、しごと（余暇、所得、やりがい）・生活（買物・子育て環境、交通の利便性など）の両面において若者の希望が充足された状態  
これらの総合力で若者の定着を目指す

ひめじ創生戦略[人口ビジョン]と[アクションプラン平成 30 年度改定版]の全体像

人口ビジョン

中長期展望（2060 年を視野）

定住人口約 47 万人を維持

（合計特殊出生率 2.20 東京圏・大阪府への転出超過数 0 人/年）

基本目標・成果指標

ひめじ創生戦略の目標（2020 年を視野）

1. 地域経済を活性化し、**安定した雇用**を創生
  - 製造品出荷額等の全国シェア、県内シェア 向上
  - 従業者数（製造業）維持
  - 工場立地件数 向上
2. **学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れ**を創生
  - 東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）・大阪府への転出超過数 0 人
  - 総入込客※数 向上
3. 生涯を通じて**いきいきと活躍**できる社会を創生
  - 高齢者（65～74 歳）の有業率※ 向上
  - 健康寿命 1 年延伸
4. **出産、子育てにやさしい社会**を創生
  - 合計特殊出生率 1.65
  - 女性（30～39 歳）の有業率※ 向上
  - 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度 向上
5. 播磨の中枢都市として**魅力ある都市・圏域**を創生
  - 播磨圏域連携中枢都市圏※ビジョンに定める連携事業の進捗率 向上
  - 公共交通機関の乗車人員 向上
  - 中心市街地の居住者数 向上

活力の向上

若者の質の高い暮らしを可能とする主な施策・事業

しごと

★魅力的な企業の育成

- ・ものづくり企業等の IT 化の推進(p. 8)
- ・成長分野への参入支援(p. 8)
- ・新製品等の市場開拓支援(p. 8)
- ・創業者への支援(p. 8)
- ・地域未来投資促進法に基づく基本計画の策定及び推進 (p. 9)

ひと

★播磨で生きる人材の育成とマッチング

- ・ひめじ e-教育プロジェクト(p.16)
- ・義務教育学校の開校(p.16)
- ・U ターン就職の促進(p.15)
- ・若者のライフプランモデルの作成(p.15)
- ・合同就職説明会・面接会等の開催支援(p.16)
- ・新規就農者育成支援型農園の整備(p.10)

まち

消費・労働力の向上

★働き方改革と人口急減社会への対応

- ・働き方改革の推進(p.26)
- ・公共施設等総合管理計画の推進(p.26)
- ・業務改革に向けた行政情報分析基盤の構築(p.26)
- ・市内鉄道駅周辺整備の推進(p.25)
- ・がんばる地域応援事業の実施(p.23)
- ・マイナンバーを活用した窓口サービスの向上(p.24)
- ・周産期医療の充実(p.19)
- ・地域子育て支援拠点事業の充実(p.19)
- ・病児・病児後保育事業の推進及び整備支援(p.20)

★産官学金労言との連携による取組みの加速化

- ・播磨圏域連携中枢都市圏※ビジョンの推進(p.22)
- ・民間企業との連携協定を活用した具体的事業の推進(p.26)

### 3. 成果指標・重要業績評価指標(KPI)

総合戦略において掲げた5つの基本目標及び19の施策について、施策ごとに具体的な事業を設定し取り組んでいく。事業の実施にあたっては、基本目標ごとに成果指標（計13指標）を、施策ごとに重要業績評価指標（KPI）（計28指標）を設定する。

成果指標	: 受益者(市民等)からとらえた具体的な効果や効用を基準とする指標
重要業績評価指標(KPI)	: 目標の達成度合いを計る定量的な指標 成果指標又は行政活動そのものの結果に係る指標

◎各成果指標、KPIにおける数値は、特に記載がない場合は平成31年(度)又は平成32年3月末時点の数値、カッコ内の数値は、平成26年(度)又は平成27年3月末の数値

基本目標1】地域経済を活性化し、安定した雇用を創生	【基本目標1の成果指標】	
	■製造品出荷額等の全国シェア、県内シェア : 全国シェア:0.79%、県内シェア:16.06% (H22~26年平均値:全国シェア:0.72%、県内シェア:14.70%)	
	■従業者数(製造業) : 46,050人(H26年:46,050人)	
	■工場立地件数(工場立地促進制度の適用件数) :H28~31年度平均値で30件(H24~26年度平均値:27件)	
	施策	重要業績評価指標(KPI)
基本目標2】学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生	①ものづくり力の強み、起業家支援、産官学等連携を活用した競争力の強化	□創業者に対する支援数 : H28~31年度累計300人(73人)
	②企業の立地の促進による雇用の安定	□工場用地ライブラリー制度の登録件数 : 10件(8件)
	③職業教育と就業機会の充実	□市立3校の就業体験の生徒数 : 100人(82人)
	④地域の特色を活かした農林水産業等の振興	□「豊穰の国・はりま」ブランドの認証団体数 : 65団体(未実施)
	【基本目標2の成果指標】	
■東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)・大阪府への転出超過数 : 0人(560人)		
■総入込客※数 : 1,000万人(914万8千人)		
施策	重要業績評価指標(KPI)	
⑤都市イメージの向上	□姫路観光コンベンションビューロー「ひめのみち」ページビュー数 : 800万件(658万8千件) □ジュニア姫路検定の参加者数 : 2,100人(1,912人)	
⑥MICE※の推進	□コンベンション※等の開催支援数 : 90件(71件)	
⑦インバウンド※を踏まえた観光戦略の展開	□観光案内所(姫路観光ナビポート)での外国人観光客対応者数 : 20,000人(10,872人)	
⑧移住・定住支援の充実	□地域おこし協力隊の受入人数 : H28~31年度累計8人(未実施)	
⑨優秀な人材の確保・活用と多様な人々の就労や登用の支援	□女性を対象とした就労支援メニューの参加企業数 : 10社(平成29年度より実施予定)	

◎各成果指標、KPIにおける数値は、特に記載がない場合は平成31年(度)又は平成32年3月末時点の数値、カッコ内の数値は、平成26年(度)又は平成27年3月末の数値

基本目標3【生涯を通していきいきと活躍できる社会を創生】	【基本目標3の成果指標】	
	■高齢者(65～74歳)の有業率※ :H29年に32%(H24年:30.6%)	
	■健康寿命 :H31年度までに1年延伸(H25:男性77.84歳、女性82.45歳)	
	施策	重要業績評価指標(KPI)
⑩社会貢献活動の促進	□生涯現役人材バンクの活用件数 :75件(46件)	
⑪高齢者の就業・起業への支援	□シルバー人材センターの会員数 :3,590人(3,265人)	
⑫健康づくり活動の推進	□ニュースポーツ普及事業助成数 :43校・地区(H24～26年度平均値:33.7校・地区) □介護予防自主活動グループ数 :520グループ(197グループ) □要介護・要支援認定者に占める要介護認定者数の割合:60.7%(63.2%)	
基本目標4【出産、子育てにやさしい社会を創生】	【基本目標4の成果指標】	
	■合計特殊出生率 :H31登録人口ベースで1.65(H26登録人口ベース:1.55)	
	■女性(30～39歳)の有業率※ :H29年に71%(H24年:67.2%)	
	■「ワーク・ライフ・バランス」の認知度 :H28年度に70%(H23年度:46.2%)	
施策	重要業績評価指標(KPI)	
⑬ライフステージに応じた切れ目のない支援	□妊婦本人への面接率 :100%(96.8%) □保育所等利用待機児童数 :0人(H27.4.1:69人) □ファミリーサポートセンターの提供会員及び両方会員数 :790人(718人)	
⑭子ども・子育てを見守る地域活動の維持	□コミュニティ活動イベント助成事業の実施地区数 :全72地区(64地区) □スクールヘルパー※への登録者数 :16,000人(15,887人)	
⑮仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	□ワーク・ライフ・バランスに関する講座・講演会の回数 :10回(8回)	
基本目標5【播磨の中核都市として魅力ある都市・圏域を創生】	【基本目標5の成果指標】	
	■播磨圏域連携中枢都市圏※ビジョンに定める連携事業の進捗率 :100%(未実施)	
	■公共交通機関の乗車人員(1年間に公共交通機関に乗車した人員の1日平均):165,859人(156,102人)	
	■中心市街地の居住者数 :8,894人(H22～26年度末平均値8,732人)	
	施策	重要業績評価指標(KPI)
⑯連携中枢都市圏※構想による圏域の活性化	□播磨圏域連携中枢都市圏※ビジョンに定める連携事業の進捗率 :100%(未実施)	
⑰地域課題克服による日常生活圏の充実	□空き家バンク※登録物件数 :40件(未実施) □買物支援サービス事業の登録者数 :50人(H27.3.31:22人) □地域活動に対する支援(地域防災訓練)件数 :700件(503件)	
⑱高次都市機能※の集積等による中心市街地活性化の強化・推進	□中心市街地商店街の空き店舗減少数 :9店舗減少(37店舗)	
⑲行政マネジメントの強化	□地方創生にかかる意見聴取者数 :H28～31年度累計400人(未実施) □行政情報分析基盤を活用する組織数 :H29～31年度累計9部署(未実施)	

#### 4. 課題に対応する新規・拡充事業

ひめじ創生戦略の目的である活力ある「ふるさと・ひめじ」を維持するため、将来的に人口減少に歯止めをかける「積極戦略」に取り組むとともに、直面する人口減少の課題に対応し、活力を維持するための「調整戦略」に重点的に取り組む。そのため、現在における課題を明確にし、その対策を再検討した結果、平成 28 年度事業に併せて、平成 30 年度に新規 19 事業及び拡充 43 事業を実施する。

##### 【積極戦略・社会増対策】

	課題	対策	施策(基本目標)	事業名(◎は新規、○は拡充)
1	若者の地元就職の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が活躍できる場をつくる</li> <li>・地元企業への意識づくり</li> </ul>	③職業教育と就業機会の充実 (1 地域経済を活性化し、安定した雇用を創生) ②企業の立地の促進による雇用の安定 (1 地域経済を活性化し、安定した雇用を創生)	◎新規就農者育成支援型農園の整備 ○新規就農者の相談・支援 ◎地域未来投資促進法に基づく基本計画の策定及び推進
2	大都市への転出超過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大都市と比較して悪いイメージを払拭</li> <li>・郷土意識の醸成</li> <li>・UIJ※ターンの支援</li> </ul>	⑤都市イメージの向上 (2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生) ⑧移住・定住支援の充実 (2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生)	◎平和ツーリズムの推進 ◎姫路市オリジナル婚姻届の協働発行 ○地域夢プラン事業の拡充 ○日本遺産(Japan Heritage)の情報発信・活用 ○東京オリンピック・パラリンピックの効果が次世代に引き継がれるレガシーの創出 ○地域おこし協力隊の活用 ○Uターン就職の促進 ○第二新卒をターゲットとした転出超過ゼロ作戦

##### 【積極戦略・自然増対策】

	課題	対策	施策(基本目標)	事業名(◎は新規、○は拡充)
3	子育てに対する不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代に対する包括的なケア</li> <li>・子育て施設等の充実</li> <li>・女性が働きやすい環境づくり</li> </ul>	⑬ライフステージに応じた切れ目のない支援 (4 出産、子育てにやさしい社会を創生) ⑮仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進 (4 出産、子育てにやさしい社会を創生)	◎周産期医療の充実 ○地域子育て支援拠点事業の充実 ○教育・保育の提供体制の計画的な確保 ○緊急時等における子育て支援の充実 ○放課後児童健全育成事業の充実 ○子育て世帯に対する家賃助成 ○仕事と家庭が両立できる環境づくりの促進



【調整戦略】

	課題	対策	施策(基本目標)	事業名(◎は新規、○は拡充)
4	地域経済の縮小	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり企業の技術力と生産性の向上</li> <li>地域企業の海外展開を支援</li> <li>創業者への支援</li> <li>播磨圏域の機能の維持・向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ものづくり力の強み、起業家支援、産官学等連携を活用した競争力の強化 (1 地域経済を活性化し、安定した雇用を創生)</li> <li>④地域の特色を活かした農林水産業等の振興 (1 地域経済を活性化し、安定した雇用を創生)</li> <li>⑯連携中枢都市圏※構想による圏域の活性化 (5 播磨の中枢都市として魅力ある都市・圏域を創生)</li> <li>⑱高次都市機能※の集積等による中心市街地活性化の強化・推進 (5 播磨の中枢都市として魅力ある都市・圏域を創生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎事業継承のための支援</li> <li>○ものづくり企業等のIT化の推進</li> <li>○成長分野への参入支援</li> <li>○新製品等の市場開拓支援</li> <li>○創業者への支援</li> <li>◎酒米の王様・山田錦を擁する日本酒のふるさとほりまプロジェクト</li> <li>◎森林資源を活かした地域の活性化</li> <li>◎観光漁業の推進</li> <li>○はりまフードツーリズム推進事業</li> <li>○「豊穡の国・はりま」ブランドの推進</li> <li>○(公財)姫路・西はりま地場産業センターの事業推進</li> <li>◎美術館の環境改善整備</li> <li>◎姫路市立図書館花北分館の整備</li> <li>○手柄山中央公園再整備の推進</li> </ul>
5	社会保障等の財政需要の増大、税収の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりの推進</li> <li>扶助費の抑制</li> <li>効率的な行政運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑫健康づくり活動の推進 (3 生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生)</li> <li>⑲行政マネジメントの強化 (5 播磨の中枢都市として魅力ある都市・圏域を創生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○介護予防・日常生活支援総合事業の実施</li> <li>◎働き方改革の推進</li> <li>◎民間企業との連携協定を活用した具体的事業の推進</li> <li>◎雇用・交流人口調査</li> <li>○ひめじ創生チャレンジ事業</li> <li>○公共施設等総合管理計画の推進</li> <li>○業務改革に向けた行政情報分析基盤の構築</li> </ul>
6	地域コミュニティの弱体化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域課題解決の担い手育成</li> <li>地域課題を克服</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑩社会貢献活動の促進 (3 生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生)</li> <li>⑭子ども・子育てを見守る地域活動の維持 (4 出産、子育てにやさしい社会を創生)</li> <li>⑰地域課題克服による日常生活圏の充実 (5 播磨の中枢都市として魅力ある都市・圏域を創生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民活動・ボランティアサポートセンターの充実</li> <li>○生涯現役人材バンクの運営</li> <li>○コミュニティ活動に対する助成</li> <li>◎市内医療機関の魅力発信</li> <li>◎家島群島からの救急搬送体制の確保</li> <li>○北西部活性化の拠点づくり</li> <li>○環境意識の啓発事業</li> <li>○後送医療機関におけるベッド及び医療従事者の確保</li> <li>○生活圏を結ぶネットワークの構築</li> <li>○水道事業経営戦略に基づく施設耐震化等の推進</li> <li>○消防防災拠点施設等の強化</li> <li>○救急ワークステーション事業の拡充</li> </ul>
7	交流人口対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>姫路城等を活かした観光戦略</li> <li>外国人観光客の受け入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑥MICE※の推進 (2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生)</li> <li>⑦インバウンド※を踏まえた観光戦略の展開 (2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国内外からのコンベンション※の誘致</li> <li>◎民間交流から始まるインドネシアおともだちプロジェクト</li> <li>◎姫路城世界遺産登録25周年記念事業の実施</li> <li>○鷹を活用した魅力発信</li> <li>○姫路・石巻縁推進事業</li> <li>○はりまクラスター型サイクルスタイルの構築</li> <li>○姫路港へのクルーズ船入港推進</li> </ul>
8	労働人口の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材の確保</li> <li>女性・高齢者の活躍支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑨優秀な人材の確保・活用と多様な人々の就労や登用の支援 (2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生)</li> <li>⑪高齢者の就業・起業への支援 (3 生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ひめじe-教育プロジェクト</li> <li>○合同就職説明会・面接会等の開催支援</li> <li>○小中一貫教育の推進</li> <li>○魅力ある学校図書館づくり</li> </ul>

## 5. 個別の事業・事業内容・成果指標・重要業績評価指標(KPI)

基本目標 1：地域経済を活性化し、安定した雇用を創生					
【成果指標】(策定時数値) → (各年数値) → (平成 31 年度末時点目標値)					
製造品出荷額等の全国シェア (H22～26 年平均値 → H27～31 年平均値) H22～H26 年工業統計、H27 経済センサス					
0.72%	0.74%	—	—	—	0.79% (目標)
製造品出荷額等の県内シェア (H22～26 年平均値 → H27～31 年平均値) H22～H26 年工業統計、H27 経済センサス					
14.70%	15.60%	—	—	—	16.06% (目標)
従業者数 (製造業) (H26 年 → H31 年)					
46,050 人	44,640 人	—	—	—	46,050 人 (目標)
工場立地件数 (工場立地促進制度の適用件数) (H24～26 年度平均値 → H29～31 年度平均値)					
27 件	30 件	35.3 件	—	—	30 件 (目標)
施策①：ものづくり力の強み、起業家支援、産官学等連携を活用した競争力の強化					
【重要業績評価指標(KPI)】(策定時数値) → (各年数値) → (平成 31 年度末時点目標値)					
創業者に対する支援数 (H26 年度 → H31 年度)					
73 人	106 人	121 人	—	—	300 人 (目標)
事業・事業内容					
<p>㊦ <u>事業継承のための支援</u> (産業振興課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 中小企業診断士による訪問相談の実施</li> </ul> <p>㊧ <u>ものづくり企業等の IT 化の推進</u> (産業振興課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ <u>中小企業の IT の導入に対する支援</u></li> </ul> <p>㊨ <u>成長分野への参入支援</u> (産業振興課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ <u>成長産業への参入を支援</u></li> <li>▶ 科学技術基盤 (放射光施設、スーパーコンピュータ) の活用促進</li> </ul> <p>㊩ <u>新製品等の市場開拓支援</u> (産業振興課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ <u>FM ゲンキを活用したものづくり企業の情報発信</u></li> <li>▶ 新価値創造展への出展</li> <li>▶ 国内展示会出展への支援</li> <li>▶ 展示商談会等の開催支援</li> </ul> <p>㊪ <u>創業者への支援</u> (産業振興課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ <u>創業者スタートアップ応援事業 (販路拡大のための PR 支援)</u></li> <li>▶ 創業を希望する者に対するセミナーの開催及び相談窓口の設置</li> <li>▶ 中心市街地活性化基本計画区域内並びに商店街での創業に対する事業資金の支援</li> </ul> <p>・ <u>地域資源を活用した事業への支援</u> (農政総務課・水産漁港課・産業振興課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 中山間地域における花・果樹の植栽などへの支援</li> <li>▶ 特産品等の情報発信</li> </ul>					
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">           ※ <u>二重下線</u>は㊦(新規事業)、<u>下線</u>は㊧(拡充事業)で拡充する内容         </div>					

- ・海外展開への支援（産業振興課）
  - ▶ 海外バイヤー招聘商談会の開催
  - ▶ 国外展示会出展への支援
  - ▶ 外国語 HP 新規作成に対する支援
  - ▶ 海外展開に対する相談窓口の設置
- ・新製品・新技術開発への支援（産業振興課）
  - ▶ 新製品・新技術の開発への支援（ものづくり開発奨励事業）
- ・産学連携の推進と市内企業の内発的発展の促進（産業振興課）
  - ▶ 兵庫県立大学産学連携・研究推進機構との連携・協力
  - ▶ インキュベーションセンター等の活用促進
  - ▶ ものづくり支援センターにおける産学連携の促進
  - ▶ 企業・大学・学生マッチング in HIMEJI の開催
  - ▶ 産官学連携連絡会の開催
- ・産官学の協働と交流の促進（産業振興課）
  - ▶ はりま産学交流会の活動支援
  - ▶ ビジネスマッチングを支援する機関（他都市のものづくり相談窓口等）との連携
- ・姫路ものづくり支援センターの機能充実と活用促進（産業振興課）
  - ▶ ものづくりに関する技術的な相談
  - ▶ 産学連携の支援や産産（異業種間）のビジネスマッチングへの支援
- ・新規開業貸付制度の活用促進（産業振興課）
  - ▶ 新規開業貸付（県融資制度）利用者の信用保証料一部助成

**施策②：企業の立地の促進による雇用の安定**

【重要業績評価指標(KPI)】（策定時数値）→（各年数値）→（平成 31 年度末時点目標値）

工場用地ライブラリー制度の登録件数（H26 年度→H31 年度）

8 件	12 件	7 件	—	—	10 件（目標）
-----	------	-----	---	---	----------

**事業・事業内容**

- ⑧ 地域未来投資促進法に基づく基本計画の策定及び推進（企業立地推進課）
  - ▶ 地域特性を活用し高い付加価値を創出する地域経済牽引事業の促進
- ・大規模民有地（遊休地）の活用（企業立地推進課）
  - ▶ 地権者との連携による大規模民有地（遊休地）への企業立地の誘導
- ・企業の本社機能の誘致等に向けた取組みの推進（企業立地推進課）
  - ▶ 市内にある主力製造拠点（本社機能及び研究所を備えた工場）の定着と主力製造拠点への誘導
- ・アンケート等による企業立地動向等の調査とそれに対応した企業訪問の強化（企業立地推進課）
  - ▶ 広域連携による企業の投資動向についてのアンケート及び企業誘致活動
- ・工場立地促進制度（奨励措置・低利融資）の充実（企業立地推進課）
  - ▶ 既存企業の設備投資の促進及び市外流出防止に係る支援策のさらなる拡充
- ・工場用地ライブラリー制度の充実（企業立地推進課）
  - ▶ 工場用地を求めている者と工場用地を売却したい者の情報について登録・情報提供

- ・金融機関との連携による企業立地の推進（企業情報の収集等）（企業立地推進課）
  - 政府系金融機関との連携による企業情報の収集等の推進
- ・行政手続のワンストップ化の推進（企業立地推進課）
  - 立地企業のワンストップ窓口となり、行政手続をスピードアップ化
- ・地区計画制度等による内陸部への工場等の立地誘導（企業立地推進課）
  - 地区計画制度や開発許可制度における立地基準の活用により内陸部の工場立地を促進
- ・企業立地に関する効果的な情報発信（企業立地推進課）
  - 工場立地促進制度の拡充等を盛り込んだ企業立地ガイドや PR 用 DVD を活用した情報発信
- ・未利用地調査等による工場用地の発掘（企業立地推進課）
  - 市内外遊休地の調査・発掘

### 施策③：職業教育と就業機会の充実

【重要業績評価指標(KPI)】（策定時数値）→（各年数値）→（平成 31 年度末時点目標値）

市立 3 校の就業体験の生徒数（H26 年度→H31 年度）

82 人                  87 人                  146 人                  —                  —                  100 人（目標）

#### 事業・事業内容

- ㊦ 新規就農者育成支援型農園の整備（農政総務課）
  - 新規農業者を確保・育成するための育成支援型農園の整備
- ㊧ 新規就農者の相談・支援（農政総務課）
  - 農業経営に必要な機械導入に対する助成
  - 新規就農に係る支援
- ・集落営農への支援（農政総務課）
  - 農地の利用調整、農作業の共同化、生産コストの削減に取り組む組織への支援
  - 集落営農の組織化・法人化の相談及び指導、農業関連研修案内
- ・認定農業者の育成・確保（農政総務課）
  - 認定農業者協議会の運営
  - 人・農地プラン作成の支援・指導
  - 条件不利農地の集積支援
- ・中小企業人材養成事業（産業振興課、労働政策課）
  - 中小企業者等への人材育成又は職業訓練の研修に対する支援
- ・皮革製品クリエイター育成事業（産業振興課）
  - チャレンジ工房である革工房 BAIMO のクリエイター育成
- ・中小企業の人材確保のための奨学金返済負担軽減制度の創設促進（労働政策課）
  - 日本学生支援機構の奨学金を返済している若年労働者を支援する中小企業への助成
- ・兵庫県立ものづくり大学校の活用促進（労働政策課）
  - ものづくり大学校が実施する職業訓練や匠の後継者育成等の人材育成事業に対する支援
- ・職業訓練講座の開催（労働政策課）
  - 各種職業訓練講座等の実施
- ・認定職業訓練助成事業（労働政策課）
  - 中小企業者等が認定された職業訓練に対する支援

- ・民間企業等と連携した就業教育（学校指導課）
  - 民間企業による小中高生に対する講座の開催
- ・高校生を対象としたインターンシップの促進（学校指導課）
  - 高校生を対象としたインターンシップのマッチング
- ・トライやる・ウィークの実施（学校指導課）
  - 中・特別支援学校の2年生が行う職場体験活動

#### 施策④：特色を活かした農林水産業等の振興

【重要業績評価指標(KPI)】（策定時数値）→（各年数値）→（平成31年度末時点目標値）

「豊穰の国・はりま」ブランドの認証団体数（H27年度→H31年度）

— 46 団体 55 団体 — — 65 団体（目標）

#### 事業・事業内容

- ㊦ 酒米の王様・山田錦を擁する日本酒のふるさとはりまプロジェクト（地方創生推進室）
  - GI（地理的表示保護制度）取得に関する費用助成と取得後のPR
  - はりまの酒、山田錦の特性に関する基礎調査の実施
  - 酒蔵モニターツアーの実施
  - はりまの酒を飲食店等で提供する仕組みづくり（酒なびポート、酒自販機の設置など）
- ㊦ 森林資源を活かした地域の活性化（農林整備課）
  - 安富町での森林・林業イベントの開催
- ㊦ 観光漁業の推進（水産漁港課）
  - 観光漁業船新造に対する支援
  - 各直売イベントと連携推進
- ㊦ はりまフードツーリズム推進事業（地方創生推進室）
  - 地元調理学校・大学等による播磨地域の食材を活用した事業展開
  - 飲食店セミナーの開催
  - 圏域の素材を使ったメニューフェアの実施
- ㊦ 「豊穰の国・はりま」ブランドの推進（産業振興課）
  - 参加事業者のブランド育成
  - 全国鍋グランプリの開催支援
  - 海外見本市への出展支援
  - 情報発信と販売促進を図るためのプロモーション・キャンペーンの実施
- ㊦ （公財）姫路・西はりま地場産業センターの事業推進（産業振興課）
  - 「姫路の地場自慢」コーナー設置
  - 地場産業産地振興事業の推進
  - ひめじ地場産まつりの開催
- ・姫路市飲食店認証制度の推進（保健所衛生課）
  - 食の安全・安心、健康増進、地産地消を高い水準で満たしている飲食店を認証
- ・姫路木綿復活プロジェクトへの支援（農政総務課）
  - 姫路木綿によるブランド品開発、試験栽培、開発、栽培技術の確立等への支援
- ・姫路和牛のPR（農政総務課）
  - 姫路和牛のPR及びアンケート調査の実施

<ul style="list-style-type: none"> <li>・播磨産の農林水産物の加工品化支援（農政総務課・水産漁港課・産業振興課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 農水産資源を活用した加工品の開発や製造についてのマッチング支援</li> </ul> </li> <li>・産官学協働マアナゴ栽培漁業研究開発事業（水産漁港課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 大学や漁協と連携したマアナゴ資源の研究</li> </ul> </li> <li>・中央卸売市場の施設整備（中央卸売市場） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 中央卸売市場の施設再整備事業の推進</li> </ul> </li> <li>・地場産業の高付加価値化の推進（皮革等）（産業振興課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 皮革製品高付加価値化事業</li> </ul> </li> </ul>
---

基本目標 2：学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生					
【成果指標】（策定時数値）→（各年数値）→（平成 31 年度末時点目標値）					
東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）・大阪府への転出超過数（H26 年→H31 年）					
560 人	825 人	1,064 人	—	—	0 人（目標）
総入込客※数（H26 年度→H31 年度）					
914 万 8 千人	1,190 万 2 千人	1,026 万 6 千人	—	—	1,000 万人（目標）
施策⑤：都市イメージの向上					
【重要業績評価指標(KPI)】（策定時数値）→（各年数値）→（平成 31 年度末時点目標値）					
姫路観光コンベンションビューロー「ひめのみち」ページビュー数（H26 年度→H31 年度）					
658 万 8 千件	907 万 3 千件	466 万 2 千件	—	—	800 万件（目標）
ジュニア姫路検定の参加者数（H26 年度→H31 年度）					
1,912 人	1,894 人	1,561 人	—	—	2,100 人（目標）
事業・事業内容					
⑧ <u>平和ツーリズムの推進</u> （地方創生推進室・地域福祉課・平和資料館）					
▶ 加西市、大分県宇佐市、鹿児島県鹿屋市と連携し、平和都市ブランドを通じた広域事業の展開					
⑨ <u>姫路市オリジナル婚姻届の協働発行</u> （住民窓口センター）					
▶ オリジナル婚姻届及び「婚姻届の書き方」を記載した冊子の作成					
⑩ <u>地域夢プラン事業の拡充</u> （企画政策推進室、市民活動推進課）					
▶ <u>動画等による地域資源の PR</u>					
▶ 地区ごとに地域資源をまとめたマップを配布					
⑪ <u>日本遺産（Japan Heritage）の情報発信・活用</u> （地方創生推進室・シティプロモーション推進課・文化財課）					
▶ <u>「銀の馬車道・鉱石の道」日本遺産認定を活用した事業の実施</u>					
⑫ <u>東京オリンピック・パラリンピックの効果が次世代に引き継がれるレガシーの創出</u> （シティプロモーション推進課・MICE 推進課・文化国際課・スポーツ推進室）					
▶ <u>オリンピック・パラリンピアン等によるスポーツ交流事業</u>					
▶ <u>ホストタウン事業の推進</u>					
▶ <u>聖火リレーの誘致</u>					
▶ <u>海外ナショナルチームの事前合宿受入</u>					
▶ <u>音楽のまちプロジェクト等姫路文化プログラムの推進</u>					
▶ <u>世界遺産姫路城を中心とした総合的なシティプロモーション</u>					
▶ <u>インバウンド※観光の推進</u>					

- ・ふるさと納税制度の充実（主税課）
  - ▶ 寄附者に対するお礼として地場産業の振興を兼ねて市内で製造等された特産品を進呈
- ・地域貢献納税感謝状の贈呈（主税課）
  - ▶ 市税の納付において特に貢献が顕著であった者に対する感謝状の贈呈
- ・シティプロモーションの推進（シティプロモーション推進課）
  - ▶ 国内外に向けたプロモーション活動等による誘客の促進
  - ▶ フィルムコミッションを通じたロケ誘致等の推進
- ・全国大会等の開催支援（スポーツ推進室）
  - ▶ 世界遺産姫路城マラソンの継続開催
  - ▶ 大規模大会誘致
- ・姫路の歴史文化等に愛着を持つ郷土教育（学校指導課・生涯学習課）
  - ▶ 本市の歴史等を学ぶ地域学習の実施
  - ▶ 公民館での地域講座の開催
  - ▶ はりま読本の活用
- ・ジュニア姫路検定の実施（総合教育センター教育研修課）
  - ▶ 本市の地理、文化等に関する知識や理解を深めるふるさと文化検定の実施
  - ▶ AR技術を活用したふるさとウォークラリーの実施

**施策⑥：MICE※の推進**

【重要業績評価指標(KPI)】（策定時数値）→（各年数値）→（平成31年度末時点目標値）

コンベンション※等の開催支援数（H26年度→H31年度）					
71件	69件	79件	—	—	90件（目標）

- 事業・事業内容**
- ④国内外からのコンベンション※の誘致（MICE推進課）
    - ▶ ユニークベニュー※の充実
    - ▶ (仮称)姫路市文化コンベンションセンターのプロモーションの実施
    - ▶ 市、姫路観光コンベンションビューロー、関係機関の連携による誘致活動
  - ・(仮称)姫路市文化コンベンションセンターの整備・活用（MICE推進課・文化コンベンション施設整備室）
    - ▶ (仮称)姫路市文化コンベンションセンターの整備
    - ▶ 指定管理者の募集

**施策⑦：インバウンド※を踏まえた観光戦略の展開**

【重要業績評価指標(KPI)】（策定時数値）→（各年数値）→（平成31年度末時点目標値）

観光案内所（姫路観光なびポート）での外国人観光客対応者数（H26年度→H31年度）					
10,872人	26,370人	23,868人	—	—	20,000人（目標）

- 事業・事業内容**
- ④ 民間交流から始まるインドネシアおともだちプロジェクト（地方創生推進室）
    - ▶ モニターツアーやSNS、テレビ、旅行雑誌を活用したPRの実施
    - ▶ ムスリムフレンドリー講習会の実施
    - ▶ インドネシア郷土品や郷土料理のブース出展、民俗芸能の披露
    - ▶ 高校生とインドネシア人等との交流促進

㊦ 姫路城世界遺産登録25周年記念事業の実施

(シティプロモーション推進課・観光振興課・姫路城管理事務所)

- 世界遺産サミットの開催
- 全国将棋サミット、人間将棋姫路の陣の開催
- 姫路城特別公開の実施

㊧ 鷹を活用した魅力発信 (動物園)

- 鷹に関連するイベント等の実施

㊨ 姫路・石巻縁推進事業(地方創生推進室・危機管理室・スポーツ推進室・産業振興課・姫路文学館)

- 姫路文学館で石巻関連展覧会の実施
- 姫路・石巻の名産品(地酒・海産物・菓子等)競演イベントの参加・共同PR
- メニュー開発及び飲食店や宿泊施設での提供
- 世界遺産姫路城マラソンを核とする市民交流の促進
- 防災講演会の開催

㊩ はりまクラスター型サイクルスタイルの構築 (地方創生推進室・道路建設課・道路保全課)

- サイクルバスやレンタサイクルを活用した二次交通の利用促進
- レンタサイクル車などの導入やサイクリング推進イベント等に対する助成
- 夢前川サイクリングロードの整備
- 自転車通行部分の路面標示等の検討

㊪ 姫路港へのクルーズ船入港推進 (産業振興課)

- 大学生が参画したポートアカデミーの開催
- クルーズ船歓送迎行事の実施
- クルーズ船誘致のためのポートセールスの実施
- クルーズセミナーの開催

・ 夢前川河川空間の活用 (企画政策推進室・地方創生推進室)

- 水辺空間を活用して、新たな賑わいの創出や魅力ある地域の活性化を推進

・ HOT連携の推進 (地方創生推進室・観光振興課)

- 姫路・岡山・鳥取城下町物語推進協議会(HOT)を通じた交流の推進

・ 姫路城周辺の環境整備 (企業版ふるさと納税事業) (環境政策室・姫路城管理事務所)

- 環境ヒーローによる環境学習の実施(再掲)
- 姫路城石垣の除草作業
- 姫山公園の整備

・ 観光に関する人材育成 (シティプロモーション推進課・観光振興課)

- インバウンド※に関するおもてなし講座の開催・活動支援等による観光に関わる人材の育成
- 観光ボランティアや観光産業に携わる民間事業者等に対する関連情報の提供

・ 「姫路城プラスワン」作戦の展開 (シティプロモーション推進課)

- 姫路、播磨の魅力あふれる観光資源の開発、PR
- 国内外の誘客プロモーションへの参加



- ・多様な観光の推進（ナイト観光含む）（シティプロモーション推進課・観光振興課・姫路城管理事務所）
  - 姫路城の夜間活用
  - 夜桜会の開催
  - 姉妹都市（松本市・鳥取市）との相互交流・相互出展
  - 西播磨観光協議会、歴史街道推進協議会等の広域観光団体との連携
- ・観光情報の発信（シティプロモーション推進課・MICE 推進課・観光振興課）
  - 広域観光周遊ルートを活用した誘客活動
  - 国際観光振興機構（JNTO）での海外 PR 事業への参加
  - 国際観光振興機構（JNTO）ホームページによる外国語での情報発信
  - 外国語媒体（新聞・雑誌等）への PR・情報掲載
  - 外国語パンフレット等の作成
- ・外国人観光客の受入体制の充実（MICE 推進課・観光振興課）
  - 着地型観光プログラムの開発・情報発信
  - 東アジア諸国からの修学旅行誘致
  - 外国語観光パンフレットの充実
- ・文化観光の推進（観光振興課・姫路城管理事務所）
  - 姫路城夜間公開イベントの開催
  - 文化観光学習船（和船）の PR
  - 姫路城薪能開催支援

#### 施策⑧：移住・定住支援の充実

【重要業績評価指標(KPI)】（策定時数値）→（各年数値）→（平成 31 年度末時点目標値）

地域おこし協力隊の受入人数（H28 年度→H28～31 年度累計）

— — 1 人 2 人 — 8 人（目標）

#### 事業・事業内容

- ㊦地域おこし協力隊の活用（地方創生推進室）
  - 都心部からの移住者が地域協力活動を行うことにより定住を促進
- ㊦U ターン就職の促進（労働政策課）
  - 中小企業者向け講座の開催（インターンシップ、情報発信講座など）
  - UJI ターン対策事業（首都圏等からのツアーなど）
  - インターンシップマッチング事業
  - 親のための就活セミナーの開催
  - 理系学生の市内企業就職を促進する市内大学に対する支援
- ㊦第二新卒をターゲットとした転出超過ゼロ作戦（地方創生推進室）
  - 若者のライフプランモデルの作成
  - ふるさと回帰フェア等都心部での移住定住イベントへの出展
  - 移住定住ポータルサイトの充実
  - LINE による本市の情報発信
- ・ひめじ・お試し移住体験事業（地方創生推進室）
  - 島しょ地域等での田舎暮らし体験事業の実施

<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンク※、リフォームの促進（再掲）（住宅課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 空き家バンク※の開設・情報発信</li> <li>▶ 空き家のリフォームに対する助成</li> </ul> </li> </ul>
<b>施策⑨：優秀な人材の確保・活用と多様な人々の就労や登用の支援</b>
<b>【重要業績評価指標(KPI)】</b> （各年数値）→（平成31年度末時点目標値）
女性を対象とした就労支援メニューの参加企業数（H29年度→H31年度）
— — — — — 10社（目標）
<b>事業・事業内容</b>
⑧ <u>ひめじe-教育プロジェクト</u> （教育委員会総務課・教育研修課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 小学校・高等学校の一部教室のICT機器更新</li> <li>▶ ICT支援員の配置と活用支援</li> <li>▶ Himeji教育の情報化推進フォーラムの開催</li> </ul>
⑨ <u>合同就職説明会・面接会等の開催支援</u> （労働政策課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ <u>大学生や第二新卒者等を対象とした合同就職面接会に対する支援</u></li> <li>▶ <u>高校の就職担当者への企業説明会の開催</u></li> </ul>
⑩ <u>小中一貫教育の推進</u> （学校指導課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ <u>義務教育学校の開校</u></li> <li>▶ <u>小中一貫教育標準カリキュラムの改訂</u></li> <li>▶ <u>小中一貫教育の取組検証</u></li> <li>▶ <u>コミュニティ・スクールに関する研修会の開催</u></li> </ul>
⑪ <u>魅力ある学校図書館づくり</u> （学校指導課・教育委員会総務課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ <u>学校司書の配置</u></li> <li>▶ <u>図書館を活用した調べる学習コンクールの実施</u></li> <li>▶ <u>読書活動、調べ学習への支援</u></li> <li>▶ <u>NIE※推進への支援</u></li> <li>▶ <u>公立図書館や地域ボランティアとの連携</u></li> <li>▶ <u>蔵書の整備</u></li> </ul>
・大学研究活動等への支援（企画政策推進室） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 市内大学又は包括連携協定を締結している大学の研究活動（大学発まちづくり研究、産学協同研究等）への支援</li> <li>▶ 市内4大学の連携促進</li> </ul>
・男女共同参画等を推進する企業への優遇策の検討（契約課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 市が行う入札の優遇策等の調査・研究</li> </ul>
・理工チャレンジ事業の実施（男女共同参画推進センター） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 理工系分野に興味のある女子生徒が将来をイメージして進路選択（チャレンジ）することを応援</li> </ul>
・女性のチャレンジ支援（男女共同参画推進センター・労働政策課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 個別相談の実施</li> <li>▶ 起業・就業支援に関する講座の開催</li> <li>▶ 女性のチャレンジに関する情報提供（チャレンジひろばの運営）</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者の一般就労への移行促進（障害福祉課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 障害者就業促進・安定化事業の実施</li> <li>▶ 就労支援の充実</li> </ul> </li> <li>・ 女性を対象とした就労支援（労働政策課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 在宅ワークや女性の就労に理解のある企業への就労を支援</li> </ul> </li> <li>・ わかものジョブセンターの運営（労働政策課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 面接対策等のキャリアカウンセリングや就職相談、就職支援セミナーの実施</li> </ul> </li> <li>・ ひめじ若者サポートステーションの活動支援（労働政策課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ニート等の若年無業者に対する相談業務等に対する支援</li> </ul> </li> <li>・ 郷土資料デジタルアーカイブ事業（城内図書館） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 郷土資料デジタルアーカイブシステム（ふるさとほりまデジタルアーカイブ）の構築</li> </ul> </li> </ul>
--

### 基本目標 3：生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生

【成果指標】（策定時数値）→（各年数値）→（平成 31 年度末時点目標値）

高齢者（65～74 歳）の有業率※（H24 年→H29 年）					
30.6%	—	—	—	—	32%（目標）
健康寿命（H25 年→H30 年）					
男性 77.84 歳	77.99 歳	78.76 歳	—	—	78.84 歳（目標）
女性 82.45 歳	82.87 歳	83.46 歳	—	—	83.45 歳（目標）

### 施策⑩：社会貢献活動の促進

【重要業績評価指標(KPI)】（策定時数値）→（各年数値）→（平成 31 年度末時点目標値）

生涯現役人材バンクの活用件数（H26 年度→H31 年度）					
46 件	59 件	72 件	—	—	75 件（目標）

### 事業・事業内容

- ⑩市民活動・ボランティアサポートセンターの充実（市民活動推進課）
  - ▶ センター事業の充実とコーディネート機能の強化
  - ▶ 各種媒体を活用した情報発信
- ⑩生涯現役人材バンクの運営（生涯現役推進室）
  - ▶ 知識や経験、技術を持つ高齢者を登録しその能力を求める市民とのマッチング
  - ▶ 保育所・こども園・幼稚園等へ派遣
- ・ 地域の新しい担い手づくりの推進（本掲）（市民活動推進課・生涯現役推進室）
  - ▶ 地域活動リーダーを養成するための講座等の開催
  - ▶ 地域ボランティアを養成するための講座等の開催
- ・ 研修会、講座の開催（市民活動推進課）
  - ▶ 市民活動に関する研修会、講座等の開催
- ・ 生涯現役推進専門員制度の推進（生涯現役推進室）
  - ▶ 生涯現役に関する相談に応じ、活動のコーディネートを行う専門員の配置

<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して暮らし続けるためのボランティア活動の充実（地域包括支援課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 認知症サポーターやあんしんサポーター等の養成・活動</li> <li>▶ 認知症地域見守り訪問員による活動</li> </ul> </li> <li>・食生活改善ボランティアリーダーの養成（保健所健康課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 姫路いずみ会の育成支援及びリーダー養成講座の開催</li> </ul> </li> <li>・高齢者向け運動指導者養成講習会の開催（スポーツ推進室） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 指導養成講習会の開催</li> </ul> </li> <li>・地域活動指導者の養成（生涯学習大学校） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 高齢者等に対するパソコン指導者養成講座の開催</li> </ul> </li> </ul>
<b>施策⑪：高齢者の就業・起業への支援</b>
<b>【重要業績評価指標(KPI)】</b> （策定時数値）→（各年数値）→（平成31年度末時点目標値） シルバー人材センターの会員数（H26年度→H31年度）
3,265人      2,984人      2,832人      —      —      3,590人（目標）
<b>事業・事業内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に対する就労支援（生涯現役推進室・労働政策課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 高齢者を対象とした合同就職面接会に対する支援</li> <li>▶ 高齢者を対象とした国・県の雇用助成制度の周知</li> </ul> </li> <li>・シルバー人材センターへの支援（労働政策課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ シルバー人材センターに対する事業費等の助成</li> </ul> </li> <li>・雇用アドバイザーの活用（雇用相談・情報提供）（労働政策課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 雇用相談や求人情報の提供、専門家による労働相談</li> </ul> </li> </ul>
<b>施策⑫：健康づくり活動の推進</b>
<b>【重要業績評価指標(KPI)】</b> （策定時数値）→（各年数値）→（平成31年度末時点目標値） ニュースポーツ普及事業助成数（H24～26年度平均値→H29～31年度平均値）
33.7校・地区    38.3校・地区    43.0校・地区      —      —      43校・地区（目標）
介護予防自主活動グループ数（H26年度末→H31年度末）
197グループ    289グループ    367グループ      —      —      520グループ（目標）
要介護・要支援認定者に占める要介護認定者数の割合（H26年度→H31年度）
63.2%      62.5%      62.1%      —      —      60.7%（目標）
<b>事業・事業内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑩ 介護予防・日常生活支援総合事業の実施（地域包括支援課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 要支援者・事業対象者に対する介護予防・生活支援サービスの提供</li> <li>▶ 地域の介護予防自主活動グループに対する支援</li> <li>▶ <u>地域のリハビリテーション専門職による、高齢者の介護予防自主活動グループ等社会参加に向けた支援</u></li> <li>▶ <u>訪問型短期集中予防サービスの実施</u></li> </ul> </li> <li>・ニュースポーツ地域普及事業の実施（生涯現役推進室） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 老人クラブが実施するニュースポーツの普及事業に対する助成</li> </ul> </li> <li>・生涯現役体操の普及（生涯現役推進室） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 「生涯現役ガンバルンバ体操」のパンフレットやDVDの配布、教室の開催</li> </ul> </li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターの充実（地域包括支援課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 高齢者の健康・介護・権利擁護等の相談及び支援</li> <li>▶ 市直営の基幹型地域包括支援センターの運営</li> </ul> </li> <li>・在宅医療・介護の連携推進（地域包括支援課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 在宅医療・介護連携支援センターの設置</li> <li>▶ 医療・介護サービスの連携による包括的・継続的な提供体制の構築</li> <li>▶ 医療・介護連携手帳の活用</li> </ul> </li> <li>・健康増進のための啓発・教育・相談の充実（保健所健康課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 望ましい生活習慣についての知識を普及させるための健康教育や健康相談の実施</li> </ul> </li> <li>・健康ウォーキングマップの周知（スポーツ推進室） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ウォーキングマップの周知</li> </ul> </li> <li>・地域スポーツの振興（スポーツ推進室） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 各校区スポーツクラブ21が行う各種イベントの支援</li> <li>▶ 姫路市スポーツクラブ21協議会を通じたクラブ相互の交流事業</li> </ul> </li> </ul>
---

#### 基本目標4：出産、子育てにやさしい社会を創生

【成果指標】（策定時数値）→（各年数値）→（平成31年度末時点目標値）

合計特殊出生率（H26年登録人口ベース→H31登録人口ベース）	1.55	1.57	—	—	—	1.65（目標）
女性（30～39歳）の有業率※（H24年→H29年）	67.2%	—	—	—	—	71%（目標）
「ワーク・ライフ・バランス」の認知度（H23年度→H28年度）	46.2%	—	48.8%	—	—	70%（目標）

#### 施策⑬：ライフステージに応じた切れ目のない支援

【重要業績評価指標(KPI)】（策定時数値）→（各年数値）→（平成31年度末時点目標値）

妊婦本人への面接率（H26年度→H31年度）	96.8%	96.9%	96.6%	—	—	100%（目標）
保育所等利用待機児童数（H27.4.1→H32.4.1）	69人	46人	126人	—	—	0人（目標）
ファミリーサポートセンターの提供会員及び両方会員数（H27.3.31→H32.3.31）	718人	760人	787人	—	—	790人（目標）

#### 事業・事業内容

##### ㊦ 周産期医療の充実（保健福祉政策課）

- ▶ 安定した周産期医療体制を構築するため、総合周産期母子医療センターへ支援

##### ㊧ 地域子育て支援拠点事業の充実

（総合福祉通園センター・こども政策課・こども支援課・こども保育課）

- ▶ 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- ▶ 子育てに関する相談・講習・情報提供

- ㊤教育・保育の提供体制の計画的な確保（こども政策課・こども保育課・教育委員会総務課・学校施設課）
  - 保育所等の提供体制確保の取組みの推進
  - 認定こども園制度の推進
  - 子ども・子育て会議の運営
- ㊤緊急時等における子育て支援の充実（こども支援課）
  - 病児・病後児保育事業の推進及び整備支援
  - ファミリーサポートセンター事業の実施
- ㊤放課後児童健全育成事業の充実（こども政策課）
  - 施設整備及び備品等の配置による生活環境の充実
  - 放課後児童クラブ運営について民間事業者の活用
  - 時間延長事業の拡充
  - 支援員の育成
- ㊤子育て世帯に対する家賃助成（住宅課）
  - 住宅確保要配慮者専用賃貸住宅に入居する子育て世帯に対する家賃助成
- ・妊娠・出産包括支援の充実（保健所健康課）
  - 母子保健総合相談支援事業（全妊婦面接相談支援事業、妊娠・出産包括支援ネットワークの構築）
  - 妊婦健康診査への助成
  - 産後ケア事業（宿泊型、通所型、訪問型）の実施
  - 親子歯科保健事業の実施
- ・産前・産後サポート事業の実施（こども支援課）
  - 家事や育児が困難な妊産婦の負担軽減のため、ファミリーサポートセンター会員を派遣
- ・子育て世代包括支援センターにおける相談の実施（保健所健康課）
  - 妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談支援を行うワンストップ窓口を保健センター等4か所に設置し、子育てや健康に関する情報提供や相談を実施
- ・乳幼児等・こども医療費の助成（地域福祉課）
  - 中学生以下の子どもに対する医療費の助成
- ・利用者支援事業の実施（こども支援課・こども保育課）
  - 保育所等の施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び相談
- ・児童センターを活用した子育て支援事業の充実（こども政策課）
  - 子育てに関する相談体制の充実
  - 講師派遣を通じた地域の子育て支援団体の育成
- ・市立幼稚園の3歳児保育のモデル実施（教育委員会総務課・学校指導課）
  - 市立幼稚園の3歳児保育のモデル実施

- ・保育士等人材確保の推進（こども政策課・こども保育課）
  - 保育士等の処遇改善の充実
  - 保育士・保育所支援センターの運営
  - 未来の保育士応援プロジェクトの実施
  - 保育実習強化事業の実施
  - 保育士再就職支援研修の実施
  - 保育士資格・幼稚園教諭免許状を両方取得するための助成
- ・第2子の保育料軽減事業の実施（こども保育課）
  - 国の所得制限で補助対象から外れる第2子の保育料を軽減
- ・就学前教育と小学校教育の連携推進（こども保育課・学校指導課）
  - 共通カリキュラムの推進
  - 就学前教育と小学校教育の連携推進
  - 市立幼稚園と市立保育所・こども園の連携推進

**施策⑭：子ども・子育てを見守る地域活動の維持**

【重要業績評価指標(KPI)】（策定時数値）→（各年数値）→（平成31年度末時点目標値）

コミュニティ活動イベント開催助成事業の実施地区数（H26年度→H31年度）

64地区	62地区	63地区	—	—	全72地区(目標)
------	------	------	---	---	-----------

スクールヘルパー※への登録者数（H26年度末→H31年度末）

15,887人	16,886	16,700人	—	—	16,000人(目標)
---------	--------	---------	---	---	-------------

**事業・事業内容**

- ㊦ コミュニティ活動に対する助成（市民活動推進課）
  - 地域団体が実施するコミュニティ活動等に対する助成
  - 供用廃止された公共施設活用基準など仕組みの検討
- ・こども見守り隊事業の推進（危機管理室）
  - 地域の学校及び子どもを地域全体で見守る事業に対する助成
- ・地域の新しい担い手づくりの推進（再掲）（市民活動推進課・生涯現役推進室）
  - 地域活動リーダーを養成するための講座等の開催
  - 地域ボランティアを養成するための講座等の開催
- ・スクールヘルパー※制度の充実（健康教育課）
  - 地域ボランティアが行う登下校時の声かけ・校内巡回等の活動

施策⑮：仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進						
【重要業績評価指標(KPI)】（策定時数値）→（各年数値）→（平成31年度末時点目標値）						
ワーク・ライフ・バランスに関する講座・講演会の回数（H26年度→H31年度）						
8回	6回	6回	—	—	10回	（目標）
事業・事業内容						
⑮仕事と家庭が両立できる環境づくりの促進 （男女共同参画推進センター・産業振興課・労働政策課）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 働く女性応援事業（子育て中の女性の情報交換の場の提供）</li> <li>▶ 情報誌「ファイル」を活用した先進的事業所の取組みの紹介</li> <li>▶ ワーク・ライフ・バランスに関する広報・啓発活動の実施</li> </ul>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男性の育児参加の促進（男女共同参画推進課） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 男性向け育児啓発冊子を活用した啓発</li> </ul> </li> <li>・ ワーク・ライフ・バランスに関する講座・講演会の開催（男女共同参画推進センター） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 仕事の効率化等を学ぶセミナーの開催</li> </ul> </li> </ul>						

基本目標5：播磨の中核都市として魅力ある都市・圏域を創生						
【成果指標】（策定時数値）→（各年数値）→（平成31年度末時点目標値）						
播磨圏域連携中核都市圏※ビジョンに定める連携事業の進捗率（H27年度→H31年度）						
—	94.3%	98.1%	100%	—	100%	（目標）
公共交通機関の乗車人員(人/日)（H26年度→H31年度）						
156,102人	160,963人	162,724人	—	—	165,859人	（目標）
中心市街地の居住者数（H22～26年度平均値→H27～31年度平均値）						
8,732人	8,842人	8,923人	—	—	8,894人	（目標）

施策⑯：連携中核都市圏※構想による圏域の活性化						
【重要業績評価指標(KPI)】（策定時数値）→（各年数値）→（平成31年度末時点目標値）						
播磨圏域連携中核都市圏※ビジョンに定める連携事業の進捗率（H27年度→H31年度）						
—	94.3%	98.1%	100%	—	100%	（目標）
事業・事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 播磨圏域連携中核都市圏※ビジョンの推進（地方創生推進室） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 播磨圏域8市8町の連携による圏域の魅力の向上</li> </ul> </li> </ul>						

施策⑰：地域課題克服による日常生活圏の充実						
【重要業績評価指標(KPI)】（策定時数値）→（各年数値）→（平成31年度末時点目標値）						
空き家バンク※登録物件数（H29.1.31現在→H32.1.31現在）						
—	—	11件	23件	—	40件	（目標）
買物支援サービス事業の登録者数（H27.3.31→H32.3.31）						
22人	43人	59人	—	—	50人	（目標）
地域活動に対する支援（地域防災訓練）件数（H26年度→H31年度）						
503件	458件	645件	—	—	700件	（目標）
事業・事業内容						
⑰市内医療機関の魅力発信（保健福祉政策課）						
▶ 臨床研修病院と連携し、医学生向け就職説明会へ参加						



- ㊦ 家島群島からの救急搬送体制の確保（消防・救急課）
  - ▶ 新救急艇の建造
  - ▶ 海上での救急搬送体制の充実強化
- ㊦ 北西部活性化の拠点づくり（環境政策室）
  - ▶ 姫路市伊勢自然の里・環境学習センターの機能強化
  - ▶ 「田んぼの学校」などの活動支援
  - ▶ 環境ボランティア等の指導者の育成
- ㊦ 環境意識の啓発事業（環境政策室）
  - ▶ ライトダウンキャンペーンの実施
  - ▶ 緑のカーテンの普及啓発
  - ▶ 環境フェスティバルの開催
  - ▶ 環境ヒーローによる環境学習の実施（本掲）
  - ▶ 生物多様性協働啓発事業（エコツアー）の実施
- ㊦ 後送医療機関におけるベッド及び医療従事者の確保（保健福祉政策課）
  - ▶ 休日・夜間急病センターで対応できない重症患者を受け入れる後送医療機関への支援強化
- ㊦ 生活圏を結ぶネットワークの構築（交通計画室）
  - ▶ 夢前地域等におけるデマンド型乗合タクシーの導入
  - ▶ 家島・坊勢地域におけるコミュニティバスの運行
  - ▶ バスロケーションシステムの活用と利用促進
  - ▶ パーク&ライド※等の推進
- ㊦ 水道事業経営戦略に基づく施設耐震化等の推進（水道局建設課・浄水課）
  - ▶ 経営戦略に基づく施設及び管路の更新
  - ▶ 浄水場運転管理業務の民間委託の推進
- ㊦ 消防防災拠点施設等の強化（消防局総務課）
  - ▶ 各消防署所の改修等による消防防災拠点の強化
  - ▶ 消防団詰所の耐震診断・改修
- ㊦ 救急ワークステーション事業の拡充（消防・救急課）
  - ▶ 救急隊が出場体制で病院に常駐し実習を行い、医療機関との連携強化を図る事業の拡充
  - ▶ 新県立病院での導入検討
- ・ 医療系高等教育・研究機関の整備に係る検討（企画政策推進室・保健福祉政策課）
  - ▶ 医療系高等教育・研究機関の具体化に向けた検討
- ・ がんばる地域応援事業の実施（地方創生推進室）
  - ▶ 人口減少地域へのアドバイザー派遣など活性化応援事業の展開
- ・ ハザードマップ等を活用した災害危険情報の周知（危機管理室）
  - ▶ 防災活動の普及啓発
  - ▶ 防災ハンドブックの配布

- ・地域活動に対する支援（危機管理室）
  - 避難所運営訓練等の指導
  - 自主防災会に対する防災資機材の支援
  - 自主防災会が実施する訓練資機材等の購入
- ・マイナンバーを活用した窓口サービスの向上（情報政策室）
  - マイナンバーと ICT による新しい行政窓口サービスの検討
- ・地域コミュニティ活動の拠点としての公民館の活用（市民活動推進課・生涯学習課）
  - 教養講座、地域講座、文化講座の実施
  - リーダー育成の集い、学習発表会の実施
  - 自治会の地域活動拠点として、補助員配置に対する支援
- ・まち美化運動の推進（美化業務課）
  - 全市一斉清掃の推進
- ・路上喫煙禁止に向けた取組みの推進（美化業務課）
  - 路上喫煙禁止の周知
- ・中核的医療機関の統合再編に係る医療機能の検討（保健福祉政策課）
  - 県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編に係る医療機能の検討
- ・製鉄記念広畑病院姫路救命救急センターの運営支援（保健福祉政策課）
  - 救命救急センターの安定的な運営の確保
- ・坊勢地区医療施設の再整備（保健福祉政策課）
  - 坊勢地区の診療所の移転・開設
- ・地域医療夏季セミナーの開催（保健福祉政策課）
  - 地域医療に関する医学生向けセミナーの実施
- ・臨床研修医への奨励金貸与（保健福祉政策課）
  - 臨床研修医への奨励金貸与による医師の養成及び確保
- ・買物支援サービス事業（高齢者支援課）
  - 買物不便地域における買物送迎バスに対する助成
- ・特別指定区域制度の活用（まちづくり指導課）
  - 市街化調整区域の既存集落において特別指定区域を指定し、地域の活性化に必要な住宅等の立地を実現
- ・空き家バンク※、リフォームの促進（本掲）（住宅課）
  - 空き家バンク※の開設・情報発信
  - 空き家のリフォームに対する助成
- ・地区計画制度の活用（都市計画課）
  - 市街化調整区域内のインターチェンジや駅周辺で地区計画を活用し、まちづくりを推進
- ・地方路線バス維持事業（交通計画室）
  - 民営バス路線維持確保対策事業
- ・家島諸島の離島航路の維持（交通計画室）
  - 家島・坊勢島間の航路維持のための業務改善
  - 家島・飾磨間の旅客船事業の統合に向けた検討

- ・ JR 東姫路駅の活用 (用地対策課・街路建設課)
  - 市之郷線 (駅前広場含む) の整備
- ・ 市内鉄道駅周辺整備の推進 (鉄道駅周辺整備室)
  - 山陽電鉄大塩駅の構造改良及び駅周辺整備の推進
  - JR 姫路・英賀保間新駅の整備推進
  - JR 英賀保駅駅舎の近代化の推進
  - 山陽電鉄飾磨駅周辺のまちづくり検討
- ・ 下水道資源の有効活用 (下水道管理センター・下水道整備室)
  - 下水熱の有効活用の調査検討
  - 下水汚泥の有効活用の推進
- ・ 消防団活動の活性化 (消防局総務課)
  - 消防団員の確保等に向けた広報活動の充実
  - 「スマート消防団にズームイン！」(一般市民の消防団体験) の開催
  - 車両・資器材等の充実
- ・ 大規模災害を踏まえた災害対応力の強化 (消防・救急課)
  - ドローンを活用した情報収集機能の強化
  - 消防指揮隊の充実強化
  - 広域応援体制の強化

**施策⑩：高次都市機能※の集積等による中心市街地活性化の強化・推進**

【重要業績評価指標(KPI)】(策定時数値) → (各年数値) → (平成 31 年度末時点目標値)

中心市街地商店街の空き店舗減少数 (H26 年度→H31 年度)

37 店舗      36 店舗      34 店舗      —      —      9 店舗減少 (目標)

**事業・事業内容**

- ㊦ 美術館の環境改善整備 (美術館)
  - 美術館の作品展示・保管環境の改善と来館者サービスの向上
- ㊦ 姫路市立図書館花北分館の整備 (城内図書館)
  - 花の北モール (ミラキタシティ) 内の図書館の内装及び設備を整備
- ㊦ 手柄山中央公園再整備の推進 (スポーツ推進室、公園緑地課、公園整備課、鉄道駅周辺整備室)
  - 手柄山中央公園整備基本計画に基づく事業化の検討
  - 連絡通路の整備
  - 回観展望台の保存
  - スポーツ施設の基本計画策定
- ・ イベントゾーン※の整備 (企画政策推進室・文化コンベンション※施設整備室)
  - 医療系高等教育・研究機関の具体化に向けた検討
  - ・ (仮称) 姫路市文化コンベンション※センターの整備
- ・ 姫路城跡中曲輪施設整備方針の推進 (企画政策推進室・文化財課・城郭研究室)
  - (仮称) 世界遺産・姫路城ミュージアム整備に向けた検討
- ・ Wi-Fi サービスの向上 (産業振興課)
  - 中心市街地商店街における公衆無線 LAN サービスの向上

- ・ 中心市街地商店街空き店舗対策事業（産業振興課）
  - 中心市街地商店街の空き店舗への出店者に対する助成
- ・ まちなか遊休不動産※等の活用促進（産業振興課）
  - まちなか遊休不動産※等の活用主体による事業の推進
- ・ 優良建築物等整備事業の推進（住宅課）
  - 老朽化マンション建替え等に対する助成
- ・ コミュニティサイクルの推進（交通計画室）
  - コミュニティサイクル（姫ちやり）の運営
- ・ 中心市街地における駐輪対策の推進（道路総務課）
  - 放置自転車対策に向けた対策の実施
  - 駐輪場の管理運営
  - 短時間駐輪に対応した駐輪施設の整備
- ・ 回遊性を高める大手前通りの再整備（街路建設課）
  - 安全で快適な交通環境のための歩道拡幅や自転車通行空間の整備
  - 賑わいを創出するためのオープンカフェ等が可能な道路空間の整備
- ・ JR 姫路駅南側の環境整備（姫路駅周辺整備室）
  - JR 姫路駅南駅前広場等の再整備による交通結節機能の強化

#### 施策⑱：行政マネジメントの強化

【重要業績評価指標(KPI)】（策定時数値）→（各年数値）→（平成 31 年度末時点目標値）

地方創生にかかる意見聴取者数（H28 年度→H28～H31 年度累計）

— — 89 人 167 人 — 400 人（目標）

行政情報分析基盤を活用する組織数（H29 年度→H29～31 年度累計）

— — — 2 部署 — 9 部署（目標）

#### 事業・事業内容

- ㊦ 働き方改革の推進（地方創生推進室、人事課、情報政策室）
  - テレワーク※の庁内導入
- ㊦ 民間企業との連携協定を活用した具体的事業の推進（地方創生推進室）
  - イオン株式会社、三井住友銀行・みなと銀行との連携事業の推進
- ㊦ 雇用・交流人口調査（地方創生推進室）
  - 雇用及び交流人口の観点から、地域経済に与える影響を調査分析
- ㊦ ひめじ創生チャレンジ事業（地方創生推進室）
  - 提案事業を試験的に実施し、翌年度以降事業化を検討
  - 民間企業との連携協定を活用した提案事業を試験的に実施し、翌年度以降事業化を検討
- ㊦ 公共施設等総合管理計画の推進（行財政改革推進課）
  - 公共施設情報の一元化や公共施設保全システムとの連携など施設の見える化の推進
  - 公共施設等の老朽化等への対応や維持管理経費の抑制の推進
- ㊦ 業務改革に向けた行政情報分析基盤の構築（情報政策室）
  - 庁内ビッグデータ※活用による行政マネジメントの向上
  - 行政情報機能分析データの充実
- ・ 地方創生に関する市民対話の充実（地方創生推進室）
  - ワールド・カフェ方式を活用したタウンミーティング「ひめじ創生カフェ」の実施

## 6. 推進体制

事業の推進にあたっては、市民との協働や産官学金労言の連携がより活発になるよう創意工夫に努め、下記の体制で取り組む。

### (1) ひめじ創生推進本部

全庁を挙げて事業を推進するため、庁内組織として「ひめじ創生推進本部」を設置する。

ひめじ創生推進本部は、市長を本部長とし、市長の強力なリーダーシップのもと戦略を推進する。

### (2) ひめじ創生戦略会議

有識者の専門的見地や市民目線から提言と評価を行うため、市長附属機関として、「ひめじ創生戦略会議」を設置する。

ひめじ創生戦略会議の委員は、市民をはじめ、産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア（産官学金労言）で構成する。

### (3) 市民対話の充実

地方創生に関する市民対話の場を創出し、多くの市民からの意見聴取を行うとともに、施策・事業に反映する。

### (4) 進行管理

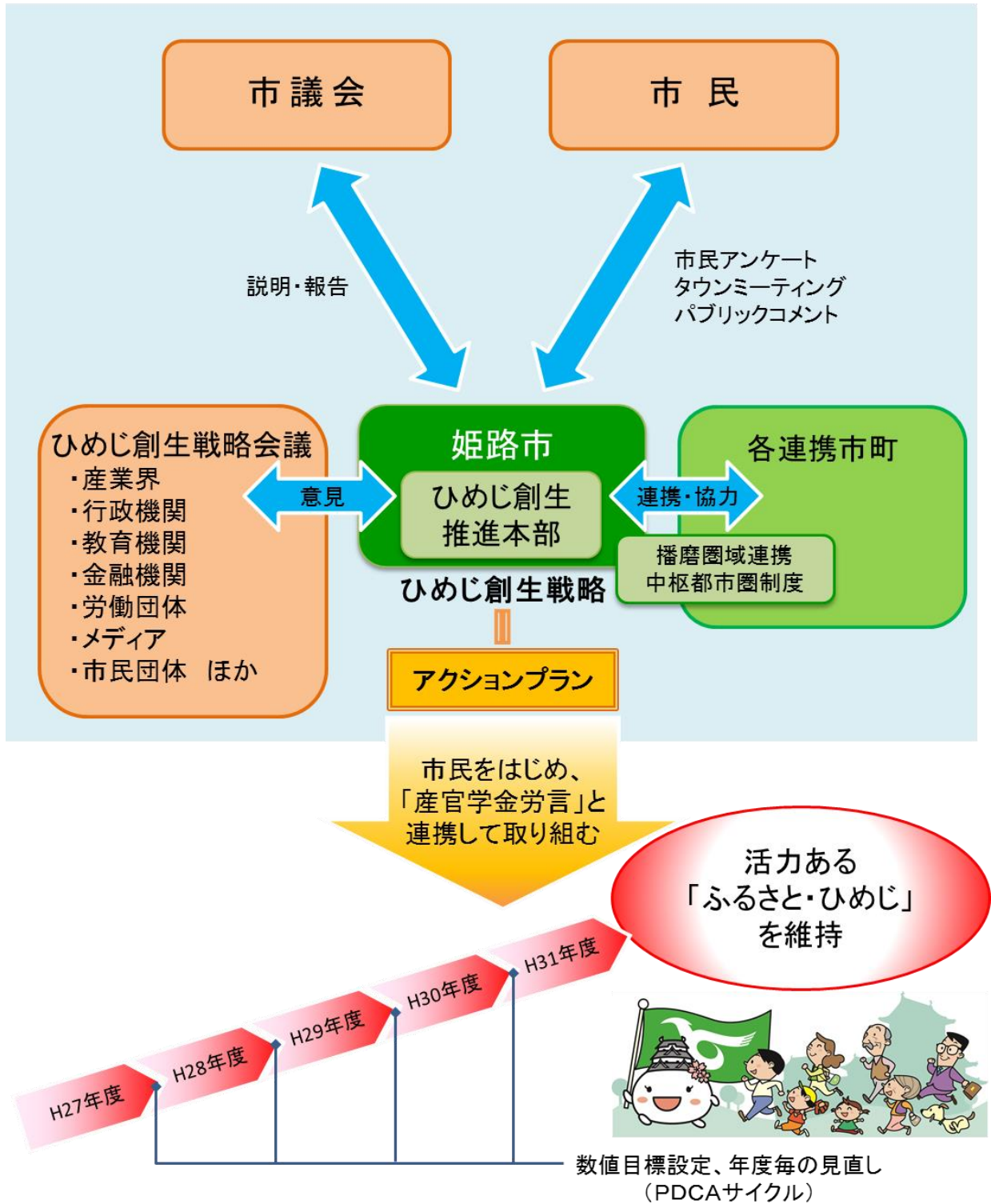
計画（PLAN）、実行（DO）、考察（CHECK）及び改善（ACTION）を重視する「PDCA サイクル」により進行管理を行う。また、各段階において現状把握・分析を行うことによって、早い段階で修正を図れるようにする。

現状把握・分析については、ひめじ創生戦略会議の意見や市民対話の活用等により、広く市民意見を捉える。さらに、本市を取り巻く社会経済情勢等を分析し、取組みの方向性を明確にする。

「PDCA サイクル」の過程で、「A(改善)」における取組み及び手法の見直しを「P(計画)」に反映させることより、戦略の内容を充実し、スピード感を持って取り組むことを目指す。

具体的には、年度ごとに個々の取組み進捗状況や内容について評価・考察し、必要に応じた見直しを行う。

# ひめじ創生戦略推進体制



## 7. 各局の地方創生に対する取組みの方針（平成30年度）

平成30年度における本市各局の地方創生に対する取組みを以下のとおり掲げる。

### (1) 市長公室

民間企業との連携協定に基づき、人材・場所・ノウハウ・ネットワーク等を活用した新たな連携事業を展開する。

また、地方創生交付金を活用し、今後急速な成長が見込まれるインドネシア共和国と交流を推進するため、本市の強みである①姫路城、②サイクリング、③雪・スキー場、④豊穰の国はりまを主なツールとして、教育、観光、産業など多方面から事業展開を図る。

さらに、はりまの酒のブランド力の強化を図るため、特性を活かした新商品開発や、播磨に古くからある酒、みそ、醤油といった麴文化の観点からの歴史研究など、文化・教育を含めた多角的な官民連携で事業に取り組む。併せて、これらの事業を姫路市でパイロット的に実施し、播磨圏域の市町と連携を図りながら拡大する。

「銀の馬車道・鉱石の道」の日本遺産登録認定を受け、地域資源を再認識し地域の誇りを醸成するため、様々な魅力発信事業を展開する。

都心部からの移住を促進し地域活性化を図るため、地域おこし協力隊の制度を活用し、本市魅力の情報発信をさらに充実させる。

地域資源を未来に継承するため、地域夢プランPR事業動画等による地域資源のPRなどを行う。

災害時における「自助」「共助」の重要性の認識を高め、地域防災力の強化を図るため、市政出前講座の活用や防災資機材の交付により、防災意識の向上と積極的な防災訓練の実施に積極的に取り組む。

子どもたちを安全で安心して育むことができる地域社会を形成するため、学校及び子どもを地域全体で見守る活動（保護立番や防犯パトロールなど）を支援する。

### (2) 総務局

職員の働き方を見直し、市民満足の向上と働きやすい市役所を目指して、庁内関係課と連携しテレワーク※を導入する。

また、公共施設情報の一元化や公共施設保全システムとの連携など施設に係る情報の見える化を行い、公共施設等総合管理計画を推進するとともに、提案型アウトソーシングの導入などにより、更なる業務の効率的な執行を図る。

さらに、事務の効率化と手続きの簡素化を図り、市民の利便性向上につなげるため、マイナンバー制度の活用を推進する。

併せて、事業最適化に必要な評価や計画につなげるため、庁内ビッグデータ※による行政情報分析基盤の機能充実を図る。

### (3) 財政局

ふるさと納税制度本来の趣旨を重んじ、制度を充実させる方策を検討するとともに、市税の納税を通じて市政に貢献され、その功績が顕著な者への感謝の意を表するため、

地域貢献納税感謝状を贈呈する。

#### (4) 市民局

ボランティア団体等の活動を支援するため、市民活動・ボランティアサポートセンターにおいて、多様な主体間の連携と交流の促進に努めるとともに、各種媒体を活用し情報発信の機能充実を図る。

また、多様な進路選択を可能とし、男性も女性も性別にかかわらず活躍できる社会を創生するため、女性が少ないとされる理工系分野での活躍を目指す女子生徒を応援する。

さらに、高齢者の社会参加と生きがいづくりを促進し、世代間交流を図るため、豊かな知識や経験を持っている高齢者を保育所、こども園、幼稚園等へ派遣する活動を行い、生涯現役人材バンク活動の幅を広げる。

#### (5) 環境局

生物多様性を体験できる施設として伊勢自然の里・環境学習センターの拠点機能を強化し、イベントや啓発事業に取り組む。

また、播磨圏域住民の環境意識をより一層向上させるため、生物多様性協働啓発事業（エコツアー）などの各種事業に取り組む。さらに、ごみのない美しいまちづくりを引き続き推進するため、市民協働による清掃活動や環境フェスティバルなどを実施するとともに、姫路城周辺において環境ヒーロー・サムライガーを活用した啓発活動を図る。併せて、路上喫煙禁止区域がより一層浸透するよう周知に努める。

#### (6) 健康福祉局

市民が安心して出産できる周産期医療体制の充実を図るため、総合周産期母子医療センターを支援する。

また、出産、子育てにやさしい社会を創生するため、子育て世帯のライフステージに応じた切れ目のない支援を行う。さらに、保護者が就労等により病気の児童を自宅で保育できない場合に、病児・病後児保育実施施設にて病気の児童を一時的に保育することで緊急時等における子育て支援の充実を図る。

併せて、仕事と子育ての両立を支援するため、待機児童の解消に向けた地域に応じた教育・保育の提供体制の基盤整備や、保育士等確保対策を推進する。

放課後における児童の受け入れ数拡大を図るため、放課後児童クラブの施設整備や民間放課後児童健全育成事業者の活用を図るとともに、子育てに関する相談等が身近で気軽にできるよう、子育て支援拠点の充実を図る。

要介護（要支援）認定に至らない高齢者の増加に対応するため、地域の自助・互助活動による支え合いの体制づくりを推進するとともに、高齢者の社会参加の促進や介護予防のための事業の充実を図る。



## (7) 観光交流局

姫路城の価値を世界に向けて発信するため、世界遺産登録25周年の記念事業として、第5回世界遺産サミットや第5回全国将棋サミット、姫路城特別公開などを開催する。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックが、播磨地域をアピールする絶好の機会と捉え、日本らしい景観や歴史、文化により強く興味を持っていただくため、国内外に向けた姫路城関連の情報発信、訴求性の高い着地型観光プログラムの掘り起こし、ミニコンサート等による音楽鑑賞機会の開催・支援など、「質の高い」観光の提供を目指すとともに、スポーツ交流事業を通じて、播磨圏域連携中枢都市圏※内外からの交流人口を増やす。

さらに、滞在型観光に向けた取組みの推進、外国人観光客の受け入れ体制を充実させるため、広域観光やナイト観光を推進するとともに、観光情報の発信を強化する。

併せて、国内外からのコンベンション※の誘致を促進するため、ユニークベニュー※の制度化などMICE※誘致に有効的なツール開発に取り組むとともに、文化コンベンション施設の設置に向けたプロモーションを行う。

## (8) 産業局

市内企業の生産性の向上を図るため、IT化の推進等への支援を行うとともに、産学連携、産産連携の体制づくりを推進し、新製品・新技術の開発を支援する。

また、地域ブランド力の向上を図るため、「豊穰の国・はりま」として、播磨圏域連携中枢都市圏※8市8町の選りすぐった多彩な播磨の地場産品を、地域ブランドとして引き続き育成するとともに、地域ブランドの顔となる産品の育成、高付加価値化を推進する。

さらに、農水産物のブランド化に取り組む生産者を支援するため、農商工連携強化を図り新たな販路の開拓などを支援する。

併せて、農業経営の安定化や経営規模拡大のために必要な農業機械の導入支援などを行うことで新規就農者の定着や認定農業者、集落営農組織の発展・強化に努める。

家島諸島と漁業という地域の特性を活かした新たな雇用と漁業経営の安定化を目指すとともに、体験漁業の推進などにより都市部との新たな交流を創生する。

企業集積の維持・強化を図るために、様々な企業ニーズに応えられる工場用地の確保に努めるとともに、工場等の新增設に対する奨励金や低利融資など、企業立地を促進させる取組みを強化・充実させる。

研究開発施設・設備を備え、高機能・高付加価値製品の開発を実現する主力製造拠点、いわゆるマザー工場が本市に立地し、さらには既設の製造拠点が主力製造拠点へと発展するため、企業にとって立地優位性の高い都市環境づくりを進める。

若者が地元の企業に就職するため、大学生や第二新卒者等をターゲットとする合同就職面接会の実施を支援するとともに、親を対象とする就活セミナー、高等学校の就職担当者への企業説明会を開催する。また、市内中小企業者に対して、インターンシップ、情報発信方法などの講座を開催し人材確保を支援する。

## (9) 都市局

住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給を促進するため、賃貸住宅の登録住宅のうち、住宅確保要配慮者専用賃貸住宅に入居する子育て世帯に対して家賃助成する。

また、地域住民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保全等のため、市内の空家等に関する情報を把握し、データベースの整備に努める。さらに、適正に管理されている空家等については、「空き家バンク※」への登録を働きかけるとともに、改修費用を助成し、空き家対策を推進する。

併せて、日常生活圏を充実させ多核連携型都市構造の構築を進めるため、公共交通サービス水準の維持・拡大や交通結節機能の向上を図る。

近年の市街化調整区域における人口減少・少子高齢化による地域の活力低下や地域コミュニティの維持に対応するため、平成 28 年度から運用を開始した特別指定区域制度や地区計画制度を活用し、住民主体のまちづくりを推進する。

## (10) 建設局

環境にも優しい交通手段である自転車を、誰もが安心して利用できることを目指して策定した自転車利用環境整備基本計画等に、新たに観光の視点を加え、ネットワーク路線の再構築や整備手法を見直した新しい自転車利用環境整備計画を策定して整備を進める。また、国内外からの来訪者に向けた広域サイクルネットワークの形成やサイクリングロードの開拓・整備に取り組む。

さらに、大手前通りの再整備を推進し、中心市街地の環境整備を行うとともに、平成 28 年 3 月に開業した JR 東姫路駅の活用を図るため市之郷線を整備する。

## (11) 下水道局

循環型社会への転換や低炭素社会の実現のため、下水道資源の有効利用に向けた取り組みの検討を行う。

下水熱については、下水道管きょ内の下水熱ポテンシャル情報（広域ポテンシャルマップ等）の提供、民間事業者等の施設における熱供給バランスの検討など、実現に向けた可能性について調査を行う。

下水汚泥については、下水汚泥有効利用計画を基に、有効利用や処理コストの削減に向けて検討を進める。また、汚泥肥料については、認知度向上を図りつつ販路の確保等、販売に向けた研究を行う。

## (12) 都市拠点整備本部

幅広い世代や国内外の人々が集う多様な交流活動の拠点として、(仮称) 姫路市文化コンベンションセンターを整備するため、平成 30 年度から本格的な施工及び施設管理条例の制定、指定管理者の選定手続きを進める。

また、手柄山中央公園整備計画のスケジュールに合わせて、JR 姫路・英賀保駅間に新駅を整備するため、JR 西日本等関係機関と調整する。

さらに、山陽電鉄大塩駅の構造改良（バリアフリー化）及び周辺道路を整備する。

併せて、JR 姫路駅南側の安全な歩行者動線の確保や交通混雑の解消による交通結節機能の強化のため、平成 30 年度中の完成を目指して JR 姫路駅南駅前広場の再整備を図る。

### (13) 水道局

安全で安心な水道水を安定して供給するため、水道事業経営戦略に基づき、老朽化が進んだ水道施設及び管路を計画的に更新する。

また、経費節減を図るため、浄水場の運転管理業務の民間委託を推進する。

### (14) 消防局

消防防災拠点施設等を強化するため、消防団詰所の耐震改修等を行うとともに、救急隊員の能力向上を図るため、救急ワークステーション事業を拡充させる。また、(仮称) 県立はりま姫路総合医療センターにおける救急ワークステーション事業導入を検討する。

さらに、大規模災害を踏まえた災害対応力の強化を図るため、消防指揮隊の 3 隊運用に伴う活動を検証し、効果的な指揮体制を構築するとともに、ドローンを活用した情報収集機能の強化を図る。

併せて、消防団員の確保等に向けた広報活動及び消防団体験の機会提供を充実する。

### (15) 教育委員会

小中一貫教育の一層の推進と特色ある教育活動を展開するため、義務教育学校や併設型小・中学校の設置を検討するとともに、教職員・保護者・地域住民が一体となって特色のある学校づくりに取り組むため、コミュニティ・スクールを充実させる。

また、様々な教育施策の実施や協働型学習の充実など多様な教育活動を推進するため、ICT を活用したより質の高い教育環境を実現し、すべての学習基盤となる情報活用能力を伸長させ、生きる力としての確かな学力を身に付けさせる。このため、「わかる授業」づくりのための ICT 活用環境や学習教材等の充実、特に小規模校における ICT を活用した遠隔授業の実施など教育環境の一層の整備を図る。さらに、校務用ネットワークシステムの更新・改善を図り、教職員の負担軽減や児童生徒と向き合う時間の確保に努める。

併せて、課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びを取り入れた授業に取り組むため、授業での学校図書館の積極的な活用や学校司書による授業支援を行う。

姫路の魅力を発見させることで、姫路市への愛情を育み、将来も姫路に住み続けたいという思いへとつなげるための郷土教育を推進する。

## 用語解説（50音順）

### 空き家バンク（→ P. 5、16、22、24、31）

主に自治体が、所有者と利活用希望者を結びつけ、空き家の有効活用を促進する制度。

### 入込客（→ P. 2、3、4、12）

姫路市内の観光地及び行祭事・イベントなどを訪れた来訪客、入場者の延べ人数。

### インバウンド（→ P. 4、7、12、13、14）

ここでは訪日外国人旅行もしくは訪日外国人旅行者を指す。

### イベントゾーン（→ P. 25）

鉄道高架事業により、JR 姫路駅の東側に新たに生み出された街区。イベントゾーンには、「知と文化・産業の交流拠点」を整備コンセプトに、「文化・交流活動の拠点機能」、「創造・交流活動を支援する機能」、「展示機能」、「会議・コンベンション機能」及び「高等教育・研究機能」の導入が進められている。

### 高次都市機能（→ P. 5、7、25）

都市機能のうち、日常生活圏を超えた広域の人々を対象に、質の高いサービスを提供する機能。

### コンベンション（→ P. 4、7、12、13、25）

国際機関・団体、学会等が行う国際会議。広義には集会や会議、大規模な見本市や催し物などの総称。

### スクールヘルパー（→ P. 5、21）

姫路市では平成 16 年度に「スクールヘルパー制度」が始まり、学校安全ボランティアとして学校の安全確保に組織的に取り組んでいる。

### テレワーク（→ P. 26、28）

「tele=離れたところで」と「work=働く」をあわせた造語。情報通信技術を活用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方のことを指す。

### パーク＆ライド（→ P. 23）

交通混雑を緩和するため、最寄りの駅やバス停までは自動車を利用し、途中で電車やバスなど公共交通機関に乗り換えて目的地まで移動する方式。

#### 市内ビッグデータ (→ P. 26、28)

一定の業務目的のために定型化・構造化されたデータ群だけではなく、これまで活用されていなかった社会活動、組織活動などから日々記録・生成される非定型・非構造化データを含む、多種多様で巨大なデータの集合体。

#### 遊休不動産 (→ P. 26)

ほとんど有効活用されていないビルや空き家、土地、廃校等。

#### 有業率 (→ P. 3、5、17、19)

15歳以上の人口に占める有業者(ふだんの状態で収入を得ることを目的として仕事をしており、今後も続ける予定の者及び仕事は持っているが現在仕事を休んでいる者)の割合。

#### ユニークベニュー (→ P. 13、30)

「特別な(ユニーク)会場(ベニュー)」の意味。美術館や博物館、歴史的な建造物などで、会議やレセプションを開くことで特別感や地域の特性を演出できる会場のこと。

#### 連携中枢都市圏 (→ P. 3、5、7、22、30)

地域において、相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が「連携中枢都市宣言」を行い、近隣の市町村と連携協約を締結することにより形成される圏域。人口減少・少子高齢社会においても、コンパクト化とネットワーク化により一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点形成を目的とする。

#### MICE (→ P. 4、7、12、13、15、30)

企業等の会議(Meeting)、報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字をとった造語。地域への大きな経済効果や新しいビジネス、イノベーションへのつながりが見込まれるビジネスイベント等の総称。

#### NIE (Newspaper in Education) (→ P. 16)

学校などで新聞を教材として活用すること。

ひめじ創生戦略〔アクションプラン〕平成30年度改定版  
平成30年（2018年）3月

■発行／姫路市 市長公室 地方創生推進室

〒670-8501 兵庫県姫路市安田四丁目1番地

TEL (079) 221-2832

[http://www.city.himeji.lg.jp/s10/2212381/\\_33984.html](http://www.city.himeji.lg.jp/s10/2212381/_33984.html)